



夢のつばさ♥プロジェクト

「夢のつばさ♥プロジェクト」は、東日本大震災で親を失った子どもたちを長期にわたって支援することを目的として、お茶の水学術事業会を中心としたNPO法人4団体によって進められている事業です。

コロナの猛威がやみませんが、皆さまお健やかに過ごしていらっしゃいますか。

夢のつばさプロジェクトでも、去年は夏に続き秋の交流会、冬キャンプも中止となり、残念ながら子どもたちと顔を合わせたの交流行事は、とうとう実施することができませんでした。子どもたちは日常の行動も制限され、様々に不安な毎日を送っていることと案じられます。



集団での活動の休止を受けて、スタッフたちは子どもたちと交流するために色々工夫を凝らしています。現在、インターネットを利用して子どもたちと交流するいくつかの企画が動いています。土日に時間を決めてインターネットコミュニケーションシステムを使って集い、それぞれが家庭で自分の決めた勉強を行うという勉強会もその一つです。なかなか机に向かう習慣の付かない子どもたちも、大学生に「今日はこれを勉強するね。」と申告して、その間集中してドリルなどに取り組んでいます。分からないところがあればLineなどを使って質問をして個人的に教わることもできます。

ただ、中学生になるとクラブ活動が非常にタイトになって、子どもたちはほとんど自由時間が持てない様子です。オンライン勉強会に参加したくても部活とぶつかってできないという声も届いており、開催の時間を夜にしようかという案が出ています。本を読んでみたり、興味のあることに熱中したり、あるいはぼんやり過ごしたり、という時間が持てない様子が垣間見えて、もう少し子どもが自分育てをする時間を作ってやれないものかなあと思ったりしています。



またラジオ番組風に大学生がパーソナリティになって、様々な話題を語り掛け、チャットで応答する、というような試みも行っています。11月には、保護者の方たちとのオン

ライン交流会を行いました。親御さんたちも覗いて楽しんでくださっているというお話も出て、うれしいことでした。



1年半ばには、子どもたちと、第2回オンライン交流会を行いました。

夢のつばさの活動にインターネットを導入することについては、社会人スタッフとも検討し、「インターネットスキルに慣れ親しむことは、子どもにとっても有益であろう。インターネットの活用の仕方、避けるべきこと、危険から自分を守ることを大学生と学び合える機会を持つことは、保護者の不安への対応ともなり推奨できる」と考えました。大学生は、子どものインターネット使用に不安を持つ保護者もいらっしゃるのではないかと考え、アンケートを行ったり、丁寧な説明文書を作ったりしています。

しかしながら、インターネットになじみがない親御さんたちには、新しく参加するというのはやはりハードルが高いようです。そこで、大学生の自己紹介などを盛り込んだ新聞を発行したり、インターネットでつながっていない子どもには、なるべく頻繁にお手紙を出すようにしたりしています。さらに大学生と子どもがグループで手紙をやり取りする交換日記風の企画も始めました。とても好評で、個人情報を守ること、誰かの悪口を書いたりして傷つけ合うことのないように配慮しながら、たくさんの交換日記グループが楽しく続いています。



この3月で東日本大震災から十年となることから、現在、「夢のつばさの十年の記念誌」を作成中で、スタッフの中にも様々な思いが去来しています。コロナの難局をバネに、遠く離れた子どもたちとも日常的に連絡を取り合えるという、新しい展開を確かなものにしたいと願っています。

(夢のつばさ♥プロジェクト)

ご寄付のお願い

【口座】三井住友銀行 大塚支店(店番号227) 普通1284200

【名称】特定非営利活動法人 お茶の水学術事業会 理事長 平野由紀子 ※夢のつばさ♥プロジェクトの専用口座です。

ご寄付いただく際には、ご芳名、ご住所(連絡先)を下記までお知らせください。

※恐れ入りますが、税金控除の対象にはなりませんので、あらかじめご了承ください。

連絡先:事務担当 滝澤公子 TEL&FAX:03-5978-5362 E-mail:tsubasa@npo-ochanomizu.org